

海老名市は、12月補正予算案に市道62号など2路線の道路改良に向けた事業費を計上した。工事は年明けの公告を目指している。

市道62号線の道路改良工事には4000万円を充て、尼寺交差点内の舗装改修と、鉄道沿いの延長1100m区間を線路側へ拡幅し、両側歩道を整備する。

既に両側に歩道があるものの、線路側は狭いた幅員約2mに拡幅する。市道1753号線の道路改良には2400万円を盛り込んだ。

整備延長は2000m。全幅約11mのうち、片側車線の幅員約5mで舗装改修と、自転車対応用の側溝を整備する。

差金が生じた「三崎漁港(二町谷地区)水産物流通加工業務団地汚水処理施設管理事業」で77万円、市営住宅除却工事に入札差金が生じた市営住宅除却事業を148万5000円、それぞれ減額補正する。

ホールトイレを含む)を整備する。

その他、12月補正予算案では、寺尾小学校空調設備機能復旧工事の継続費を補正。当初は2019年度継続の総額2億8208万円といたが、新型コロナウイルス感染症の影響で工事が遅れたため、3カ年継続(19・20・21年度)とし、1554万円増額して総額2億9762万円とした。

の1
0年度通常砂防工事
元年度通常砂防工事
0年度通常砂防工事
度急傾斜地崩壊対策



(東京都港区、小野寛章(会長)は8日、下水道管経営者や技術者ら約30人が参加した。講師を務めた小野会長が、下水道ストックマネジメントに役立つさまざまな管更生技術をはじめ、同事業参入の手順・方法、初期投資予算、必要ライセンスなどについて説明した。

「開いた」写真。企業の製管工法」の概要についても解説した。日本下水道新技術機構の審査証明取得技術、硬質塩化ビニール製の管板を既設管内にらせん状に巻き立てて製管し、既設管との隙間に充填(じゅうこん)剤を詰めることで管渠を更生する複合管構造形式の管更生工法。

当日は、小野寺義明氏(小野寺中小企業診断士事務所)が講師を担当、「これからの会社経営に重要な地域貢献と事業継続の取り組み」と題し、SDGs、CRSの具体的な取り組み、BCPの必要性と具体的な事業継続強化計画の策定、国や県の補助金の紹介などについて講演した。

全標協神奈川
路面標示で
放置自転車防止

全国道路標識・標示業
仲奈川県協会(大川泰徳(会長)は8日、路面標示による放置自転車防止対策として、川崎市の東門前小学校前の自歩道に、1年生と6年生の児童たちが描いた絵画シート141枚を貼り付けた。写



一環で、2015年にも同事業を実施している。貼り付けてきたことから、劣化したことから、川崎市からの依頼を受けた」と話している。

け、材料費は市の負担で施工した。前回は児童たちと一緒に作業したが、コロナ禍の影響で今回は会員23人のみで行った。

全国住宅産業協会(馬場研治(会長)は4日に第10回優良事業表彰を開催した。住宅の企画・開発について、優良な事業を実施した16プロジェクトを選定し、成果をたたえた。

全国は自分の家をよりよい環境にしようという意識が強くなっている。住宅をつくる側も、今後はそれを意識していく必要がある」と話した。

【戸建分譲住宅部門】
▽フワコーレノイエ神戸
鹿の子台プロジェクト

【不動産関連事業部門】
▽渋谷区神山町老人ホーム事業(日神管財)

今回は新型コロナウイルス感染症の影響で審査のための現地調査ができず、各社のプレゼンテーションによって表彰事業を決定した。審査会座長を務めた幸寿氏(シーズクリエイト(会長、東京都渋谷区)は、コロナの影響で、家にいる時間が増えるなど、働く場としても

【企画・開発部門】
▽昭和住宅(株) IK
OISHIYORUルーム事業

【企業・開発部門】
▽昭和住宅(株) IK
OISHIYORUルーム事業

【企画・開発部門】
▽昭和住宅(株) IK
OISHIYORUルーム事業

全生連関東1区
10月出荷は7.3%増
全国生コンクリート工業組合連合会関東1区地区本部(吉野友康(本部長)がまとめた同地区の10月の生コン出荷は前年同月比7.3%増の185万2053立方メートルで、2カ月連続の増加となった。千葉県以外の1都2県が増加。神奈川県と埼玉県は2桁の伸びだった。